

情勢

県知事の不承認を支える闘いの輪を広げましょう

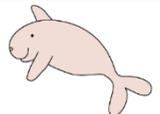
2017年4月辺野古・大浦湾の護岸工事着手から4年。18年12月キャンプシュワブ南側への土砂投入から2年半。沖縄防衛局は強引な土砂投入とかさ上げを進めていますが、現場の闘いで全土砂の4.3%（1月末）に止まっています。それどころか、「土砂単価1.5倍」「警備費は工費の3割」「辺野古移設1兆円」（朝日新聞3月7日）など膨大な出費に批判が高まっています。ジュゴン訴訟をはじめ国際連帯が米国政府を確実に動かしています。昨年6月、米国連邦下院軍事小委員会が国防長官に「辺野古新基地建設が脆弱地盤や環境に及ぼす影響」の報告を求めました。9月埋め立て設計変更申請に意見書が、国内17857件、海外からも45件提出されています。今年2月に辺野古新基地建設反対のパークレー市議会決議が上がり、3月には米国会計検査委員会(GAO)が「地元の反対と環境分析で新基地建設が大幅に遅れている」、「国防総省がGAOに辺野古の脆弱地盤について報告していない」ことを明らかにしました。辺野古埋め立て阻止の闘いが米国の環境団体や市民運動とつながり、米国政府を動かしているのです。さらに、この輪を広げるために、今年1月から始めたオンライン署名「ジュゴンの鳴き声データの公開」「埋め立て船の夜間航行中止」（日本語版、英語版）に、日本語版2万9500、英語版1548が集まっています。世界のホープスポットを認定している米国の環境NGO ミッションブルーも署名への協力を呼びかけています。メッセージ付きの写真や動画を集める新たなキャンペーン「辺野古の海に新たなジュゴンストーリー」

リーを」にも海外から寄せられています。

政府防衛省は、外来種対策が原因で、沖縄県外からの埋め立て土砂調達に行き詰まっています。その焦りから、沖縄戦の激戦地、本島南部の「遺骨などが眠る土」を辺野古の海に投入する計画を進めていることが、全国から「人道的な問題だ」との怒りが広がっています。4月中旬、岸防衛大臣は与那国や奄美など南西諸島を視察しました。石垣、宮古への自衛隊ミサイル部隊配置や、鹿児島県馬毛島への米空母艦載機の陸上離着陸訓練場の移設と自衛隊基地整備計画が市民の反対で進んでいないからです。今国会で突如提案された「重要土地調査規制法案」は、沖縄はじめ全国の反基地運動をつぶすためのものです（別掲コラム参照）。廃案に追い込みましょう。沖縄防衛局の「埋め立て設計変更申請」の内容審査は最終段階です。4月22日沖縄県は「脆弱地盤の安定性やジュゴンへの影響」など第3次質問を沖縄防衛局に送りました。5月11日が回答期限なので、デニー知事は5月末か6月上旬には不承認すると思われま。政府防衛省は直ちに不承認取り消し裁判に入るに違いありません。設計変更申請反対の意見を出したすべての力を集めて、デニー知事の不承認を支える体制を実現しましょう。

5月28日の政府交渉で第1次署名を提出します。11月末の政府交渉には第2次署名を提出します。闘いの輪をさらに広げましょう。

重要土地調査規制法案は反基地運動つぶしがねらい



「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律案」（略称：重要土地調査規制法案）が国会で成立されようとしています。

この法案は基地などの重要施設や国民生活に重大な影響を与える施設の周囲1キロと、国境離島を個別に「注視区域」に指定して所有者の個人情報などを政府が調査し、必要に応じて利用の中止を命令できる法案です。「重要施設」の「機能を阻害する行為」など法案の核となる文言の定義は、法律（国会）ではなく、政令（政府）で決めるとすることで拡大解釈ができるのです。もともと、投資目的で森林などを買い占めている外国人の規制を求めた自治体からの要望を、菅内閣が安全保障の問題にすり替えていることが問題なのです。

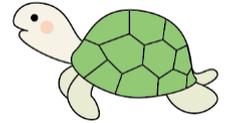
参議院外交防衛委（4月15日）で、伊波洋一議員の追及に防衛省は「650ある自衛隊、米軍施設の周辺6万筆のうち住所が外国にあり、外国人と類推される方の土地が7筆」「施設の機能を阻害する行為、阻害した行為はない」と認めています。なんら、新たな法規制は必要ないのです。「安全保障の取扱者」を規制する法律、特定秘密保護法が、2013年に強行採決されたことは記憶に新しいです。

今回の重要土地調査規制法案は米軍基地や原発などを監視す

る市民を規制する法案です。狙いは①「基地周辺や離島の土地取引の監視」を口実に住民の思想信条調査②「重要施設の機能を阻害する土地利用の防止」を口実に反基地運動の規制③「利用者その他の関係者に情報提供の義務付け」による密告と地域の分断です。辺野古新基地建設やミサイル基地建設が進む宮古、石垣など米軍基地が集中する沖縄が規制の対象になります。戦前よく似た法律があります。軍事施設周辺での情報収集を防ぐ「要塞地帯法」（1899年）と、軍事施設の測量、撮景などを禁止した軍機保護法（同年）です。陸・海軍大臣が秘密と定めたすべてが言論統制の対象になりました。1904年の日露開戦に先立って秘密保全体制を強化したのです。今国会で、重要土地調査規制法案と同じデジタル関連法案審議されています。個人情報を含むデータを国や自治体、民間で共有して利用することで、本人の同意なく個人情報が収集されるのです。マイナンバーカードや国民健康保険証のデジタル化による国民総背番号制、監視社会づくりです。安倍・菅内閣の警察国家づくり、戦争ができる国づくりを許してはなりません。

（事務局 蛭川義章）

SDCC 第21回 総会報告



4月18日、第21回SDCC総会はコロナ禍のためオンラインで開催し、沖縄、首都圏、関西のスタッフ・会員・協力者の方々がZOOMで議論しました。

開会挨拶として海勢頭豊共同代表から、4月25日投票のうるま市長選の意義、ジュゴン保護の歴史を伝えていく重要性が語られました。

吉川秀樹国際担当からは、「トランプ、コロナ、バイデン、ジュゴンSDCCの国際的な取り組みについて」と題して報告がありました。

昨年5月ジュゴン訴訟は敗訴しましたが、米国連邦裁判所にジュゴンなど海外の歴史的文化的動物は国家歴史保存法の適用対象であることを認めさせました。

国防権限法に基づいた連邦議会への働きかけを米国労働組合(APALA)やVeterans For Peaceなどと連携し、辺野古軟弱地盤などの問題を訴えてきました。

6月、米国連邦下院軍事小委員会に働きかけ、辺野古の軟弱地盤の問題点を共有してきました。7月、米国海洋ほ乳類委員会(MMC)に沖縄ジュゴン保護の要請書を71団体で提出。9月、埋め立て設計変更申請に対する意見を海外からも集中しました。今年3月には米国会計検査委員会(GAO)の報告会に参加し、GAOが新基地建設が地元の反対と環境分析で大幅に遅れていると認識していること、国防総省がGAOに「辺野古の軟弱地

盤」について報告していないことなどを確認しました。

続いて蛭川義章共同代表から年間総括方針、決算予算について提案されました。

名護市議会議員の東恩納琢磨さんからは、設計変更申請不承認を求める名護市議会決議と、来年1月の名護市長選挙勝利に向けた準備状況が報告されました。

取り組み報告として、オンライン署名「ジュゴンの鳴き声データの公開」「埋め立て船の夜間航行中止」(日本語版、英語版)について報告がありました。約3ヶ月の取り組みで、日本語版29,439筆、英語版1,441筆、紙署名650筆が集まっています。署名に込められたメッセージには、「ジュゴンの棲む海を守ることは、地球環境を守ること」「南部の土砂を埋め立てに使うことは、戦没者を冒瀆すること」などの意見が寄せられています。

また、新しい取り組みとして、メッセージ付きの写真や動画を集めるキャンペーン「辺野古の海に新たなジュゴンストーリーを」の紹介がありました。

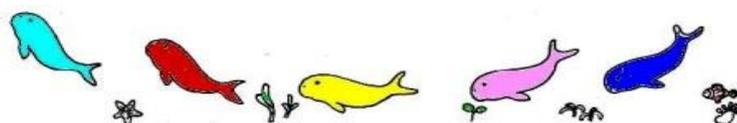
国内外の取り組みを結んで、設計変更不承認、来年名護市長選挙に勝利しましょう。(首都圏 三村昭彦)



SDCCの国際的取り組みについて、吉川秀樹 国際担当より報告がありました



官邸前スタンディング行動



新たなジュゴンストーリーにたくさんの投稿が寄せられました！

ありがとうございます
ございました！

4月1日から5月10日の間、「辺野古の海に新たなジュゴンストーリーを」と題して、「ジュゴンを守ろう」「辺野古新基地建設NO」のメッセージ付きの写真、動画を募集しました。

“辺野古の海を再生し、ジュゴンが安心して暮らせる生物多様性の海を未来へつなぐ、そんな新たなジュゴンストーリーをともに創っていこう”との呼びかけに33名の方から写真98枚、動画4本が届きました。東京・大阪・気仙沼などの街頭行動の様子、沖縄のサンゴ調査やカヌーでの抗議行動、鳥取駅前街宣、アメリカやフィリピンからの投稿、自作の版画や絵もあったし、ジュゴンとウミガメのかわいい動画も。

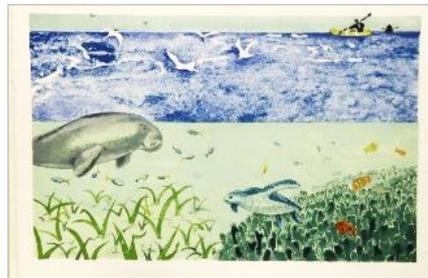
コロナ禍で、去年はなかなかイベント企画ができませんでした。そんな中でも世論を広げ、多くの人とつながりたいと、考え付いたキャンペーンでした。寄せられた写真、メッセージは、思っていた以上にバラエティ豊かで、インパクトがあり、ジュゴンや海を守りたい思いが伝わってきて、とても元気が出ました。HPに全写真・動画を載せていますのでご覧ください。写真・動画は1本の動画にまとめて国内外に発信し、世論喚起します。みんなの声でジュゴン保護・辺野古新基地建設中止の声を盛り上げていきましょう。
(関西 山根富貴子)



「ここにいるよ」
by 沖縄・辺野古のジュゴン

辺野古でジュゴンが鳴いている。
ここにいるよ、
と鳴いている。
大浦湾にもどってきたよ、
と鳴いている。
人間の思惑なんて関係ない。
だって、ここはジュゴンの生きてきた海だから。
希望の海だから。

関本幸さんから写真とメッセージ



関西

遺骨で海を埋めるな！4/3大阪駅前で緊急行動

4月3日(土) 17:30~18:30 大阪駅前「大阪アクション/遺骨の残った土砂を辺野古埋め立てに使わせない！」を行い約40名が参加。市民に「沖縄線で亡くなった方と遺族の尊厳を踏みにじる問題」とプラカードを持って訴えました。

SDCCも参加するStop! 辺野古新基地建設! 大阪アクションの3月末のミーティングで、「沖縄県庁前ではガマフヤーの具志堅堅松さんがハンストで中止を訴えている。緊急に何かしないと」と議論し決まった行動です。コロナ禍のなか足早に通り過ぎる方が多かったですが、立ち止まってアピールに聞き入る方もいました。しかしまだこの問題の本土での認知度は低く、もっと世論を高める必要を感じました。

大阪アクションは今後、デニー知事が埋め立て不承認を表明した翌日に、18:30から大阪駅前「不承認支持」の緊急

行動。その後の3回の土曜日に同じく18:30から大阪駅前で連続行動を行い、不承認支持、遺骨を埋め立てに使わせない、訴えを強めていきます。
(関西 松島洋介)



大阪駅前ではバンナーを広げアピール

首都圏

辺野古埋め立て不承認を支持しますキャンペーン

～政府は直ちに工事をやめろ～



沖縄防衛局が沖縄県に対して辺野古埋め立て海域の「設計変更」を申請したことを受けて、沖縄県知事が防衛省の「変更申請」を「不承認とする」判断をされると思われま。それに合わせて首都圏では「不承認支持」の一大キャンペーンを繰り広げ「辺野古の工事=ストップ」「美ら海守れ」と、世論を大きく喚起し、機運を盛り上げて行くことになりました。

連日、各市民団体などから、各地の取り組みがグループメールに流れています。情報を共有し、それぞれのやり方を学び、お互いの励みにするなどしています。いくつか紹介します。沖縄出身の若者が三線を弾いて道行く人を釘付け。そのうちに「月桃」を、みんなで口ずさむなどしながら、アピール行動を行った。「県知事の不承認を支持します」、「辺野古の海を埋め立てないで!」と、可愛い海の生き物のイラストが描かれたポケットティッシュを配った。「ちむぐりさ」の上映運動と連携しながらアピールした。また、辺野古の請負業者の大成建設や五洋建設前で抗議行動した。埋め立て工事前の美しい

辺野古の海の特大大パネルと、埋め立てが進んでいる今の辺野古の海の特大大パネルを掲げて市民に訴えるなど、やり方はいろいろ。でも、気持ちは一つ。各地で、生き生きとしたアピール行動が行われています。「応援しています」と、声をかけてくれる人もいます。

今度こそ、政府は沖縄の民意を尊重して辺野古海域の工事を中止して欲しい!
(首都圏 宮城詔子)



首相官邸前に集まった仲間



気になるニュース!

他国(米国)の軍隊が常駐し、やりたい放題の異常な状況

「沖縄でまた米軍機低空飛行」(2/11 朝日新聞)、「普天間返らず 苦渋25年」(4/11 朝日新聞)、「本当につらい 20年度の基地苦情過去最多759件 米軍機の離着陸最多」(4/12 琉球新報) など関連記事より

基地負担の軽減どころか、米軍の訓練はひどくなっている。沖縄本島西の慶良間諸島や最北端の辺戸岬で米軍機の低空飛行が相次いだ。辺戸岬は訓練区域外だ。沖縄県の抗議に対して、岸防衛相は米軍への中止要請には言及せず「米軍の訓練は必要不可欠」「日米安保のため重要な訓練」などと発言した。米国には抗議せず、住民を守らず、責任能力のなさをまたも露呈した。2018年に全国知事会は、地位協定を見直し、航空法など国内法令を米軍に適用させることを提言している。ドイツ、イタリア、ベルギー、英国ではできているのだから、日本でもできるはずだ。

そして、日米両政府が普天間基地の全面返還に合意してから4月12日で25年となった。当初「5~7年以内」とされた返還はいまだ実現せず、市民の暮らしは脅かされ続けている。2017年米軍ヘリから8キロの窓が普天間第二小学校の校庭に落ちるといった事故があった。じゅごんの里ツアーで、その校庭に案内してもらった時「この真上を飛びますよ」と教えられ、校庭の隅に作られた避難場所は野球のベンチのようで呆然と見つめたのが忘れられない。こんな危険な小学校が他にもあるだろうか。今年の3月、宜野湾市役所の

留守番電話が市民の悲痛な声を記録していた。「我慢していたんだけど。本当に限界を超えています」「高校の合格祝いを家族でやっている矢先にものすごい爆音」など、市の苦情専用窓口が初めて録音できる容量を超えたという。その後も苦情は続いている。他国(米国)の軍隊が常駐し、やりたい放題の異常な状況を、その犠牲は沖縄に押し付けたまま、それで日本は安全だと受け入れ続けるのか。それでいいのかと一人一人に問いかけたい。
(関西 池側恵美子)



沖縄防衛局がつくった「シェルター」

交流広場

工藤茂広さんとは、2019年の秋、安和棧橋前の集中行動で出会いました。私的に関わられている中高生の沖縄旅行記を紹介して下さるなど、交流が続いています。SDCCの腕につけるジュゴンや紅型マスクも愛用して下さっています。

知ることへの愛を惜しまず

小学5年生がやって来て、生活体験や自然体験をとことん楽しむ時空が私の職場です。子どもたちに、何より大切な自分を知ってほしい。私は、そんな願いから日々あちこちの小学校を訪ね、出前授業のなかで対話を続けています。

他者と共に学び、想いを分かち合いながら、一人では不可能なことを創造したり、問題を解決したりする体験活動を積み重ねることで、お互いの自由を認め合う感度を育む。その要諦に、対話があります。競争的で、空気を読み合うような



腕にジュゴンをつけて授業を！
うれしいですね☆

① わんさか通信 ★ ジュゴンの ②

海と森はつながっている

5月5日いち早く梅雨入り、湿度ムンムンの毎日です。

コロナ自粛の影響で国際通り玄関口のお土産店「おきなわ屋」が閉店したそうです。ニュースで県庁から国際通りを映す定番の映像でお馴染みの店だけに高額な家賃がネックとなり、長引くコロナで観光客減少での決断だそうだ。

近頃の残念な話題の中バンザイしてる人が、と思ったら「沖縄・奄美世界遺産へ」と！正式には7月決定らしいが見通しがたっの発表らしい、良かった。

2004年SDCCの呼びかけで、ジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全の実行を求める決議がIUCNで採択されましたが、今日の新聞に大きく載った写真にはジュゴンだけが写っていないので淋しさがありません。しかし専門家お二人のコメントは揃って「森と海のとつながりが大切」「海域まで拡張し豊かな多様性を次世代に伝えることを目指すべき」と海の保全に言及されていて、これで終わりではないという目標がみえました。
(沖縄 小平裕美)



沖縄タイムスより

環境にあっては、自分が生き残るために他者へ攻撃性を向けがちになります。そこに対話があれば、信頼と承認に満ち、より自由でいることができ、他者との協働も生まれやすくなります。子どもたちが、自分で問いを主体的に立てて、自分たちなりの対話的なやり方で、自分たちなりの深い答えを導き出す力を育てよう、学びの中心に対話を据えているのです。

コロナ禍という体験を通して、誰も答えを知らない世界を生きていることに多くの人が気づいたように感じます。いま、一人一人が幸せであるために、誰一人取り残さず、誰もが協力し合うことの大切さを、私たちは学び直しているのではないのでしょうか。平和は、自分を知ることから始まります。最後に、私の辺野古プラカードを紹介して本稿を終えます。

～あなたと話したい あなたも守りたい～

(北海道在住 工藤茂広)

五輪、コロナ ～ 市民の立場に立った報道を

5月7日第3次コロナ緊急事態宣言が5月末まで延長されました。出口基準はまたもや不明確。オピニオンリーダーである大手5紙・テレビ局は五輪や聖火報道に力を入れています。これでいいのでしょうか。東京オリンピック組織委員会が緊急事態宣言中に日本看護協会に「看護師500人の派遣」を求めました。同じころ、国際オリンピック委員会 (IOC) のバッハ会長は記者会見で「緊急事態宣言は時期を限定した対策。五輪と関係ない」とオリンピック優先を強調。4月16日菅首相が訪米しバイデン米大統領にオリンピック出席を求めましたが、共同声明では「開催のための努力を支持」とそっぽを向かれました。米紙ニューヨークタイムスにも「一大感染イベント」と揶揄 (やゆ) されたのです。

共同通信の世論調査では「東京五輪 世論は開催否定的な声が7割超」(4月15日)と、前回の3月調査から横ばいです。朝日新聞は社説「五輪とコロナ」で「これで開催できるのか」(4月23日)、「冷静な目で現実見る時」(4月30日)と批判的な姿勢を出しはじめました。インドからの変異ウイルスが焦点になっている今、「五輪中止、命こそ大事」、「自粛強要ではなく、社会的な検査を」と、なぜ主張しないのでしょうか。大手5紙やテレビ各局がオリンピックのオフィシャルパートナー (年60億円)、サポーター (年15億円) だからです。安倍・菅政権に各社の社長が抱き込まれ、記者クラブ制度で相互監視され、各紙とも大本営発表の報道に終わっているからです。市民の立場に立ったジャーナリズム精神を発揮すべきです。

(事務局 蛭川義章)

大倭大君と邪馬台国論争 ~こらむ・こらむ~

甲骨文字「大」がジュゴンから生まれたことを確認したことは、中国や日本の古代史を知る上での「大発見」であった。又、ウチナーの語源が倭及奴であったことも、南西諸島の古代史を知る上で「大発見」であった。倭及奴とは倭国と奴国のこと。あの有名な「漢倭奴国王印」の「倭奴」も同義。その「倭奴国王」に比定し得る歴史上の人物は、魏志倭人伝に記された邪馬台国の女王卑弥呼の他にはいないということである。

私は毎月島の神事に通いながら、ここに来て漸く、卑弥呼の目指した奴国に於ける邪馬台国は平安座島であったと確信するに至る。ヤマトイコクを「大」で表すと「山大国」、理想郷の「土」で表すと「山土国」、即ち、ヤマト国になるからである。「大」「山」「土」「座」などが信仰の拠点を示し、平安座島が別名「山座島」と呼ばれジュゴン信仰の拠点を指しているからである。

島には更に「ユサンジガー」=「よさ出でる河」と呼ばれる湧泉があり、それは丹後半島と謝郡の「よさ」に由来する泉名と思われるからである。そのことに気づいたのが、三好龍孝さんに案内された丹波の旅であった。

2000年前の丹波王朝の丹波は「タコワ」と呼ばれたという。それは、沖縄本島中部の読谷、北谷、谷茶など

のタンとの交流のあった倭、即ち、「谷倭」を意味する。若狭、京都、奈良、大阪など近畿一円を治めていた川上一族との関係を考えると、平安座島がヒミコの目指した宗教上の拠点であったと理解できる。又、日女命=ヒミコが川上一族の娘であったこと、島の神事の中心を司る家系が山城姓で、川上門中でもあるからだ。

178~183年の倭国大乱。奈良で生まれたヒミコが沖縄の久高島で修行し、倭国の世直しに向かったのが195年。倭人と奴人が協力し、ヒミコを先頭にジュゴン信仰で九州、四国、本州各地を世直し。倭国に於ける宗教の拠点を奈良に置き大倭としたのが207年。そして2年後には、奴国に於ける信仰の拠点を平安座島に置いたことになる。又、ウチナーは大奴・宿奴と呼ばれ、全国の出雲系・八幡系神社の祭神に「オオナジム」「スクナヒコ」とあるのは、大奴神武と宿奴日子、即ち、大奴のジュゴンと宿奴のヒミコを祀っているということになる。

沖縄では祖先を「ファーフジ」と言うが、それは大倭大君=ウフワウフジンのヒミコを指す。又、平安座島周辺には倭及奴を表すヤキナ、アギナ、ウキンなどがあり、ヒミコの時代を今に伝えているからである。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）



じゅごん茶話会

宮古島への自衛隊配備の現状を聴いて

南西諸島の島々に自衛隊配備が強行され軍事化が進んでいます。正当化するように中国脅威と危機が煽られているようです。2年前に茶話会メンバーで宮古島を訪れた時は、千代田に陸自のミサイル基地はできていたけれど、保良の弾薬庫はまだ予定地でした。その後どうなっているのか気になっていたので、3月25日のじゅごん茶話会で、Kさんに昨年11月の宮古島訪問の報告をして頂きました。

保良の弾薬庫建設は進んでいて、千代田のミサイル基地ゲート前では、ミサイルを搭載できる車両が基地外での訓練を終えて戻って来るのを何台も見たとのことです。厳しい状況の中で、市役所前などで週1回のスタンディング、保良での阻止行動（トラック1台を20分止める）など、あきらめずに取り組みは続けられているとのことでした。悔しいことに保良では弾薬庫2棟が完成してしまいました。

「4月25日沖縄防衛局は、保良訓練場の住民見学会を開いたが、住民が心配すること、ミサイルの搬入時期や弾薬保

管量などの明確な説明はなかった」そうです（4/26琉球新報より）。弾薬庫から一番近い民家は200m、500m以内に小さな集落が入ってしまうというのに、住民の安全はどう守られるのでしょうか。もし何かあったら、有事でなくても、偶発的な事故でも起こったら、小さな島のどこにどうやって逃げろというのでしょうか。自宅のすぐ近くにミサイル基地や弾薬庫があり、基地内外で訓練が行われている、そんな日常を想像できるのでしょうか。宮古島では現実なのです。

軍事力以外の平和構築の方法を考えようとする政府は、宮古島だけの問題ではありません。理解に苦しみますが、このコロナ禍でも世界の軍事費は最多になったという報告がありました。軍事はよほど儲かるのでしょうか。安全保障=軍事力の思考停止から脱するため、命よりもお金という世界に『命どう宝』の心を取り戻していきたい。

（関西 池側恵美子）

INFORMATION

<首都圏・全国>

《 今後のスケジュール 》

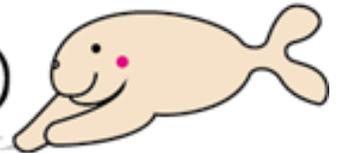
<関西>

- ・5月28日(金) 環境省・防衛省交渉
- ・6月3日(木) 18:30～ ZENKOスピーキングツアー
鶴見加瀬会議室 講師 奥間政則さん(オンライン)
- ・官邸前行動 6月23日(木) 6月30日(木)

- ・ZENKOスピーキングツアー (講師はオンライン)
6/4(金) 19:00～ 西宮市民会館 楚南有香子さん
6/6(日) 13:30～ エルおおさか 北上田毅さん
- ・6月20日(日) 14:00～ MAP 寺子屋「沖縄ジュゴンと新基地建設」 近鉄富田林駅 MAP Cafe



街角ジュゴン⑤



日本でジュゴンというと鳥羽水族館ですが、海外でジュゴンを見ることができる水族館は、シーライフシドニーがあります。ここは南半球最大の規模で陸の動物が居るワイルドライフシドニーが併設されていて、たくさんの動物を見ることができます。

ジュゴンは2頭居ましたが、メスのWuruちゃんは亡くなってしまって、今はオスのPig君だけとなっています。有り得ないことですが、鳥羽水族館のセレナちゃんとペアリング出来たらいいなー、と勝手に妄想しています。以前は、シンガポールやインドネシアの水族館でも飼育されていましたが、残念なことに、どちらも現在はいません。私が知っているのはここだけですが、他にもジュゴンを飼育している水族館をご存じの方はお知らせください！飼育されているジュゴンの頭数を見ると、ジュゴンの飼育が如何に難しいかということがわかります。30年以上も飼育出来ている鳥羽水族館は改めてすごいです！ (関西 上田千鶴)



Pig君です。可愛い！

写真：シーライフシドニーHP



ジュゴンの水槽はトンネルになっています

写真：ブログ ケモノみち 動物たちに会いに行こう

Change.org 「ジュゴンの鳴き声公開」キャンペーン に寄せられたメッセージを紹介します

☆ジュゴンの鳴き声を日本政府が公開しない理由がわかりません。日本の天然記念物で、絶滅が危惧されている希少な生き物です。一日も早く鳴き声を公開し、生息状況の早急な保護などに役立てるべきだと思います。

☆Please release your recordings of dugongs in the Henoko-Oura Bay, Okinawa where the military base is being planned, that will destroy their habitat. Dugongs are critically endangered species and Okinawa's cultural icon. They deserve to be saved.

Editor's Note

「菅義偉の正体」(森功 著)を読んだ。菅は横兵市議時代に港湾利権と結びついて国会議員にのし上がる。その後は総務副大臣時に、竹中平蔵総務相のもとで、新自由主義改革を進め、IT業界とも癒着を深めた。辺野古新基地建設も国場組と癒着して推進の急先鋒。「新自由主義者とIT業者が糸を引く利益誘導型政治」(森功)「デジタル法」もIT業者に国民の全情報を献上し、国民監視体制を作るため。「重要土地調査規制法案」もこの国民監視体制と一体のものだ。一読を。(M)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.116 2021年5月25日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084